

# 「久保田ゼミ卒論」

## 就職活動で成功した多摩大生の行動と心理に関する研究

学籍番号22011336 名前森巧光

研究対象：全学年の多摩大生

研究目的：就職活動で成功した多摩大生の行動と心理に関する研究し、モデル化し、多摩大生のための

研究方法：アンケート調査を実施し、その分析をすることにより、行動と心理の特徴を分析する。

### 概要

本研究の目的は、就職活動に成功した多摩大学の学生の行動と心理の特徴を明らかにし、その結果をもとに有効な就職活動の方法を示すことである。本研究では、成功した学生の行動と心理の特性について、心理的側面、行動的側面、戦略的側面、社会的・文化的側面の4つの視点から分析を行う。

研究動機は就職活動で成功している、もしくは人事受けする「魅力ある人」ってどんな人なのか特徴を洗い出したい（多摩大生という条件下で）

研究対象は、近年、就職活動に成功した多摩大学の学生である。彼らは就職活動において成功を収め、現在は様々な職種で活躍している者たちである。それぞれが抱く心理的特性や具体的な行動、使用した戦略、また社会的・文化的な要素の利用や適応は何であるか、これらがどのように成功につながったのかを明らかにすることで、新たな就職活動の成功モデルを描き出す。

研究目的については、具体的には以下の4つの側面を探究する：

1. 心理的な側面：成功者たちは自信、柔軟性、自己効力感、ストレス耐性、自己認識、目標設定の能力といったどのような心理的特性を持っているのか、またポジティブなマインドセットや成長のマインドセットが成功にどのように寄与しているのかを明らかにする。
2. 行動の側面：時間管理、効果的なコミュニケーション、自己プレゼンテーション、ネットワーキング、効果的なリサーチ、持続力といった行動特性がどのように成功に寄与しているのかを分析する。
3. 戦略的な側面：自己をどのようにマーケティングし、職業的なネットワークをどのように構築・維持し、有効な情報をどのように収集・利用したのか、具体的な戦略とその効果を研究する。
4. 社会的・文化的な側面：社会的なネットワークの利用や、特定の業界の文化への適応が成功にどのように影響しているのかを探究する。

これらの要素を調査するため、アンケート調査を実施する。対象者から収集したデータは定量的・定性的に分析し、成功する就職活動を行う人々の行動と心理の特徴を解明する。本研究の結果は、多摩大学の学生だけでなく、より広範な範囲の就職活動者にとって、成功につながる行動と心理的特性を理解し、自身の就職活動を計画・実行するための有用な知見を提供することになるだろう。